

施策番号	1302		
施策名	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり		
概要	児童虐待対策と被虐待児をはじめたした養護等が必要な子どもへの支援を進めるとともに、障害や疾病等のある子どもに対して成長に応じた切れ目のない支援を行う。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関する主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 虐待相談に対し速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	c	b	96.8	98.0	100	98.0%	b	1.00	
2 虐待相談ホームページアクセス件数(件)	a	d	124,015	98,319	136,416	72.1%	d	0.50	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				c	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも書えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。	42	172	217	47	23	501	b	
	8.4%	34.3%	43.3%	9.4%	4.6%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					26年度	C
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 児童相談所における児童虐待防止という対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●被虐待児が特定されていない通告(いわゆる泣き声通告)など、児童の特定に時間を要する事例が少なからず存在するため、長期的には横這い状態であると考えられる。48時間以内の対応については、前年度よりも1.2ポイントの増となり、b→b評価と安定している。 ●ホームページアクセス数については、児童虐待に対する社会的関心の高まりを受け、平成24年度に141,903件を記録したが、25年度から減少傾向であり、前年度同様d評価と低い評価が続いている。 【市民の実感】子どものいのちと人権が大切にされていると感じている市民の割合が4割を超えており、取組の効果が徐々に市民生活に実感されつつあることから、昨年度に引き続きb評価と安定した評価となった。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	障害児保育対策	730,918	840,303	かなり良い	保健福祉局
2	児童福祉施設措置費(児童)	35,920	35,291	良い	保健福祉局
3	子育て支援短期利用事業	71,832	73,843	良い	保健福祉局
4	学童クラブ障害児対策	84,874	168,973	かなり良い	保健福祉局
5	里親制度の推進	12,033	12,288	良い	保健福祉局
6	児童福祉施設単費援護事業	21,411	23,224	かなり良い	保健福祉局
7	養護施設・母子生活支援施設育成事業	1,567	1,575	良い	保健福祉局
8	育児支援家庭訪問事業	80,522	91,359	良い	保健福祉局
9	障害のある児童のはあとステイ事業	6,604	-	普通	保健福祉局
10	身元保証人確保対策事業	2,389	2,419	かなり良い	保健福祉局
11	児童虐待防止啓発事業	5,526	6,017	良い	保健福祉局
12	自立援助ホーム運営補助	11,482	6,995	良い	保健福祉局
13	児童福祉センター管理運営	1,867,555	1,900,296	良い	保健福祉局
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- 児童相談所に寄せられる虐待通告に対し、引き続き48時間以内の児童の安全確認を行えるよう取り組む。
- 児童虐待の専門機関である児童相談所の対応力の強化を図っていく。
- 子育て中の家庭を地域全体で見守り、支援することができる環境づくりに向けて、地域住民・関係機関に対する児童虐待防止についての啓発の取組を推進する。
- 保健センターにおける「こんにちは赤ちゃん事業」など、家庭訪問による子育て支援情報の提供や育児相談等を行う取組と連携し、子育て家庭の不安や負担感、孤立感の解消に努め、児童虐待の未然防止につなげる。
- 現行の虐待相談ホームページが、開設後約10年が経過していることを踏まえ、コンテンツの更なる充実に向けた検討を行い、定期的に虐待防止に関する情報発信をする。

施策名	1302	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり
-----	------	------------------------

指標名	虐待相談に対し速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（％）
-----	---------------------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

**1 指標の説明**

虐待相談通告について、48時間以内に児童の安全を確認した割合

**2 指標の意味**

社会の宝である子どもの人権を守るための早急な対応状況を示す指標

**3 算出方法・出典等**

算出方法：虐待通告件数に対し、48時間以内に児童の安全確認ができなかった件数を差し引いた割合  
出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	96.8	98.0	1.2ポイント増	100	完全実施すべき数値	98.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

**5 評価基準**

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：100%  
b：96%以上～100%未満  
c：92%以上～96%未満  
d：88%以上～92%未満  
e：88%未満

**6 基準説明**

当該指標については、国の通知に基づき、48時間以内に被虐待児童の安全確認を行うことを原則としているため、100%をa、それ以下を4%刻みで設定した。

**7 評価結果**

25	26	27
c	b	b

指標名	虐待相談ホームページアクセス件数（件）
-----	---------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

**1 指標の説明**

児童相談所ホームページ「あした笑顔になあれ～子どもSOS児童虐待防止ウェブサイト～」のアクセス件数

**2 指標の意味**

社会の宝である子どもの人権の保護に向けた市民の関心度を示す指標

**3 算出方法・出典等**

算出方法：全数調査  
出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	124,015	98,319	25,696件減	136,416	前年度実績の1割増	72.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

**5 評価基準**

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：100%以上  
b：90%以上～100%未満  
c：80%以上～90%未満  
d：70%以上～80%未満  
e：70%未満

**6 基準説明**

当該指標については児童虐待防止のため周知・啓発の強化を行っていることから、100%以上をa、それ以下を10%刻みで設定した。

**7 評価結果**

25	26	27
a	d	d